

4. Charsadda洪水被災地へのかんがい用水水路整備による水資源管理（パキスタン）

- 実施団体: Shama Social Village Development Organization（#263）
- 実施地: パキスタン カイバル・パクトウンクワ（KPK）州ペシャーワル管区チャルサッド県ニサッタ地区
- プロジェクト費用: 3,195ドル（JWFファンド1,500ドル、団体377ドル、受益者1,318ドル、予算比101.6%）
予算: 3,145ドル（JWFファンド1,500ドル、団体377ドル、受益者1,268ドル）
- 受益者数: 229人（男性74人、女性90人、子ども65人）
- 実施地の水問題:

2010年と2022年のパキスタン大洪水は、国内4大河川の流れるチャルサッド県の被害が最も大きかった。未だに40%の人々が困窮したなかで、実施団体が独自調査を行って地元の小規模土地（0.2～1ha）所有農民たちへ土留めのない泥壁の水路の用水路を改修して水資源管理を行えば、40%とされる壁面からの漏水が減り十分な水量を供給できると判明して申請に至った。

【実施前】



土留めのない用水路



素掘り泥壁からあふれる用水



泥壁水路

- 主な活動内容: 1,200ft（366m）コンクリート用水路整備、水利用かんがい啓発プログラム2回実施（50世帯参加）、用水路維持研修（100人参加）、維持管理委員会発足、修繕基金設置。
- 特長（持続性）: 洪水で被災した小土地所有農民たちは専門ごとに4委員会を形成して、かんがい用水路を整備して漏水を防ぐ。予算費用の4割を受益者が負担して、維持管理委員会設置と修繕基金を積み立てて持続するように図っている。
- 実施団体: 1991年設立、地元KPK州チャルサッド県の農村部のコミュニティ参加によって、社会経済開発に取り組んでいる。JWFファンド2020の支援経験もある。

4. Charsadda洪水被災地へのかんがい用水水路整備による水資源管理（パキスタン）

【実施中】



現場説明会



コンクリートパネル納品



Mr. Faqir Gul
(60歳)

以前は、水やり非常に多くの労力がかかり、長時間かけて水やりをしても作物まで届かず、その上かんがい中に用水路から漏水して、作物の収穫量が減少していました。完了後、コンクリートの水路を通じて無駄なく短時間で作物まで水を簡単に供給できるようになったため、収穫量が増加することを期待しています。



資材保管状況



用水路へのパネル施工状況



Ms. Tahira Nazia
(41歳)

地元の人々は、土地所有コミュニティのかんがい水問題を解決していただき非常に感謝しています。また、水の無駄を防ぎ、作物の生産量を増加させるための「コンクリート水路」の建設の承認をいただいたおかげで、かんがいシステムが安定し、貧困削減にも大きな効果をもたらしました。

【実施後】



かんがい用水路への給水



用水路の流水状況



Mr. Ramdad
(52歳)

私たちは日本水フォーラムに、2010年と2022年にパキスタン洪水の影響を受けた地元の40%以上の人々、貧困層や無知な人々が基本的施設を欠いていると訴えます。これらの人々は清浄な飲料水と適切な衛生設備を必要としており、このような地元のプロジェクトが必要です。これからも恩恵を受けられるように、お願い申し上げます。